



## 災害時の輸送協定締結

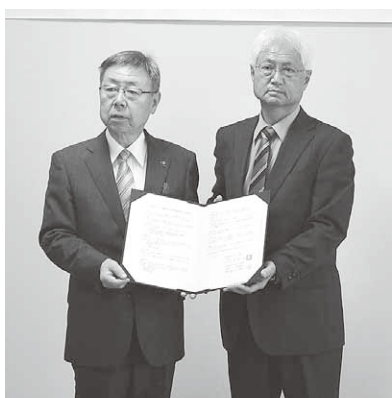
### 群馬県オートバイ事業(協)

群馬県オートバイ事業協同組合(城田新一理事長)は、5月15日、渋川市と災害時の情報収集や救助物資の輸送に関する協定を結んだ。小回りの利くオートバイの特性を生かし、被災区域の情報収集に協力し、車が進入できない地域に救助物資を輸送する。

渋川市役所で開催した締結式において、高木勉市長は「渋川は急傾斜地で旅館が密集する伊香保温泉を抱えている。機動性に優れたオートバイへの期待は大きい」と挨拶。城田理事長は「地理に詳し

い地」元販売店を軸に、市民の安心安全に役立ちたい」と話した。

当組合はこれまで、群馬県、前橋市、館林市、藤岡市、みどり市と同様の協定を締結しており、今回で6件目となる。



高木市長(左)と城田理事長

## 円滑な事業承継の進め方を学ぶ

### 太田流通センター卸(協)

太田流通センター卸協同組合(青木規夫理事長)は、5月16日、太田市・太田国際貨物ターミナルにおいて、「事業承継の円滑な進め方」をテーマに講習会を開催した。講師は、有限会社中田計理事務所・代表取締役の齋藤仁志氏。

齋藤氏は、総務省の「個人企業経済調査」から、2025年にお

ける中小企業の経営者の平均年齢は70歳以上が6割以上で、その3割が後継者未定であるとみられる現状を説明。

次いで「事業承継と言うと『経営承継』に注目が集まりやすいが、目に見えにくい『理念承継』が円滑な事業承継を行う上で不可欠である。資産の承継や税制面からみた対策を行うと同時に、経営理念や経営ビジョンを現在の後継者の間で共有してもらいたい」と締めくくった。



## 創立40周年記念大会を開催 赤帽群馬県軽自動車運送(協)

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(赤間美代子理事長)は、5月

27日、高崎市・マリエール高崎において、「創立40周年記念大会」を開催した。組合員ら約130人が節目を祝うとともに今後に向けて気持ちを新たにした。



挨拶を行う赤間理事長

冒頭、赤間理事長が「諸先輩が積み上げてきた地域社会への貢献と信頼が今日の赤帽群馬県を揺るぎないものとした。今後も、お客様第一主義に徹し、さらに磨きをかけていきたい」と挨拶。永年所属する組合員など22人に表彰状を贈った。

記念事業として、上毛新聞社と群馬テレビの「愛の募金」、被害者支援センターすてつぐんまに各10万円を贈呈。祝賀会では、ご当地アイドルMenkoいガールズによるアトラクション等を行い、賑わいのある記念大会となった。